

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年1月1日

事業所名 コペルプラスジュニア本笠寺教室

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 6 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 2 | 3 | 手洗い場の階段は配慮できていない 構造化はされており分かりやすくなっている バリアフリー化はされていないが対応可能 情報伝達は多くのツールを使用しそれぞれに合った使い方ができるようになっている |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 6 | | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 6 | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | | 3 | 第三者評価は受けていないが保護者からの意見は受け止め改善に繋げている |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | | | 定期的に勉強会を実施している |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | 職員同士で意見交換をしながら行っている |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | 1 | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 1 | | 1か月毎にプログラム内容(教材)を変えている 1ヶ月の中でも内容が被らないように工夫している |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | 1 | | 長期休暇の際には子供に合わせて設定できているが平日と休日での区別はしていない |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|---|
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | ミーティングにて共有できている |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | | | 翌日のミーティングで共有できている 記録を取り休みの職員にも共有している |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | | | |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|--|
| | ⑱ | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 6 | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 3 | 3 | | 学校間での行事予定の情報共有はできていないが保護者との間でトラブル発生時や行事予定の共有をすることはできている 学校との共有はしていないが保護者からの学校の様子を伺い把握はしている |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 1 | 4 | 医療的ケア児がない |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 1 | 3 | 必要な場合は関係機関連携を取っていききたい |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 1 | 4 | 小学校卒業までの利用児はいない |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | | | 専門機関からの外部研修に参加している |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 2 | 3 | 1時間の療育のため交流は行っていない |

| | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|
| | | | | | 兄弟姉妹児との交流はあり一緒に体を動かすことはある |
| | ⑳ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | 1 | |
| | ㉑ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | | 日々の支援内容について保護者とフィードバックする時間を設定している |
| | ㉒ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 4 | 2 | |
| 保護者への説明責任等 | ㉓ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | |
| | ㉔ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | |
| | ㉕ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 5 | 保護者会は開催しているが保護者同士の連携に繋がられているかはわからない ソーシャルレクソンを行う時に同じ悩みがあればお話しができるように仲介している |
| | ㉖ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | |
| | ㉗ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | | コペル通信にて発信している |
| | ㉘ | 個人情報に十分注意しているか | 6 | | 個人情報については鍵付きの棚に保管している |
| | ㉙ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | | |
| | ㉚ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 5 | 行事を行っていない |
| 非常時等の対応 | ㉛ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | 1 | |
| | ㉜ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | | 職員のみでの避難経路等の確認はできている 建物ないでの消防訓練にも参加している |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | | | 月に1度の社内の勉強会にて実施 |
| ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6 | | | |
| ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 1 | 1 | 4 | 食べ物の提供は行っていない 食事の機会はないがアレルギーは把握している |
| ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | | | 全職員間で情報共有を行っている |